

第 5 学年道徳学習授業案

日時 平成 16 年 7 月 6 日（火） 5 校時

児童 5 年 3 組 男 17 名、女 14 名、計 31 名

授業者 大村 亜矢

1 主題名 誠実に、明るいい心で楽しく生活する（項目 1 - (4)）

2 資料名 見えた答案（東京書籍）

3 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領第 3 章、道徳の第 5 学年及び第 6 学年の内容の 1「主として自分自身に関すること」の(4)に、「誠実に、明るいい心で楽しく生活する」とある。内容項目の視点は、自己の在り方を自分自身との関わりで捉え、望ましい自己の形成を図ることに関することであり、内容項目の(4)は、自分に対する誠実さを充実させ、外に向けても発揮されることで明るいい心をもち、みんなと楽しく生活する子供を育てようとするものである。

この時期の児童は、発達段階が上がるにつれ自分自身を守ろうとする意識が働き、自他をごまかし心に蔭を作ってしまうことが多い。誠実な行いがよいことは分かっているが、目先の利害にとらわれ、自己中心的な言動に流されてしまうのである。人間としての弱さを認めながら、なお誠実という価値の大切さを実感させたい。

(2) 児童について

5 年生になって児童は、委員会活動やクラブ活動、運動会での係活動など学級・学年の枠を越えた「学校」という大きな集団での活動に取り組んできた。

今まで体験したことのない責任ある活動に、どの児童も意欲的である。が、その一方、清掃活動や家庭学習など日常的な活動で、自己中心的な行動をとる児童がいるのも確かである。そこで、児童のこれまでの様々な経験から生じた心の影を掘り起こし、誠実な行いをしたときの気持ちよさや誠実な自分ていいなと思える態度を育てていきたい。

(3) 資料について

本資料は、がんばらなければ、というあせりの中、思わず友達的答案を見てしまい、満点を取ったものの惨めな気持ちになっていく主人公が描かれている。児童の誰もが経験しているテストの緊張感やあせり、そしてずるやうそをついてしまったときの後悔など、抵抗なく自分と重ね合わせて考えることができるであろう。

(4) 指導にあたって

価値を理解させるために、児童の「誠実でありたいけれど、それに背をむけてしまう」ような自己の複雑さを浮き彫りにし、学習への意欲を高めていきたい。自分自身の中の「誠実」にきちんと向かい合った上で、主人公の行為をどう思うか話し合うよ

うにしたい。

価値と自分を関わらせるために、日常生活や体験学習の中で、自分は誠実に対してどんなイメージをもっているのか振り返る場を設けたい。また、学習の終末で、自分の目指す「誠実」さについて書く活動に取り組みせ、自分自身の中にある「よりよい自分になりたい」という願いに気づかせたい。

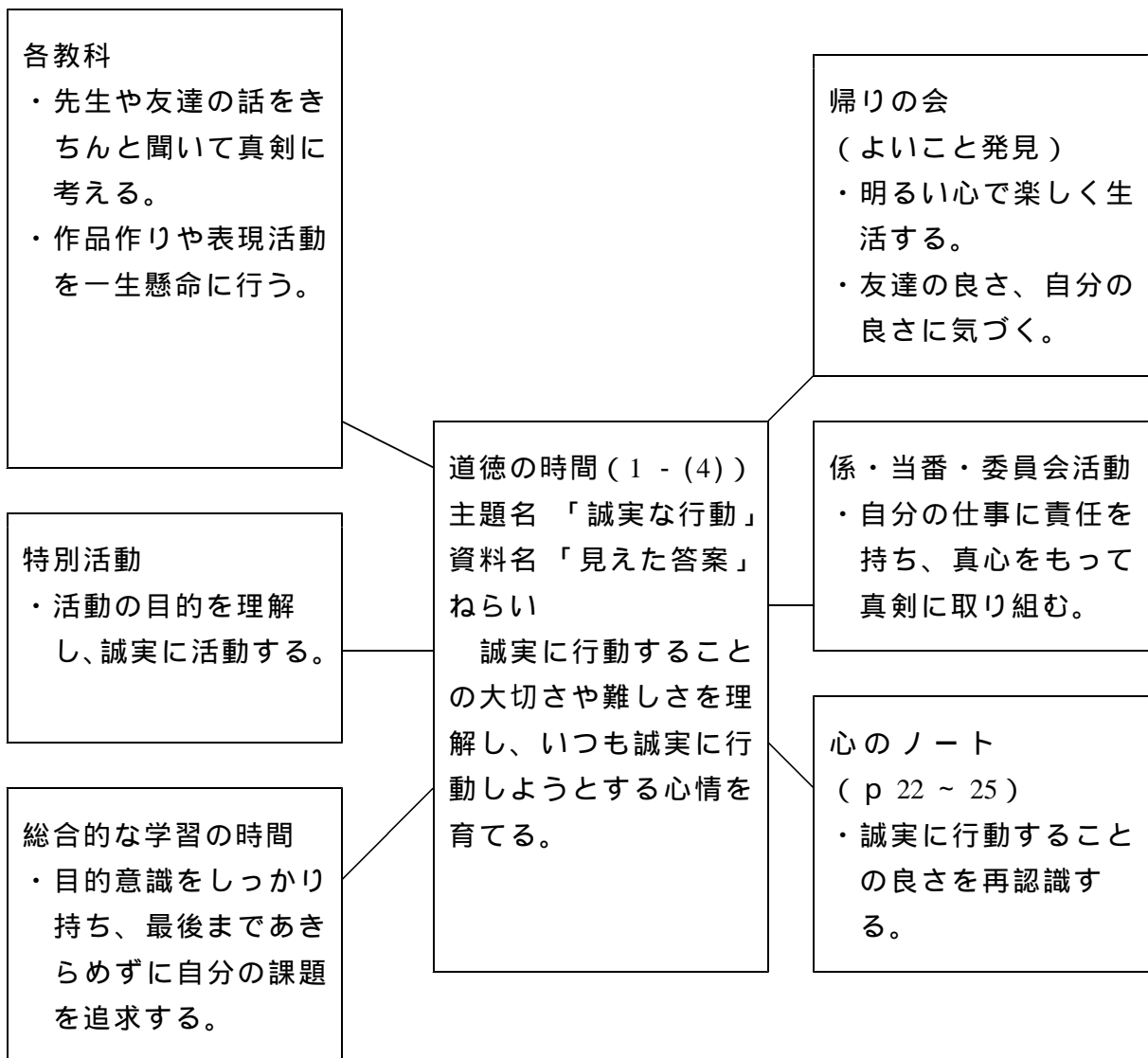
価値実現の意欲を持たせるために、みんなの中で自分の誠実さをほめられる場を設けたい。友達の一言は自信となり、自分の存在意識を感じることができよう。そして、「よし、今度は・・・」という意志を生み出すだろう。

4 他教科とのかかわり

< 各教科・特別活動 >

< 道徳の時間 >

< その他の教育活動 >



5 ねらい

誠実に行動することの大切さや難しさを理解し、いつも誠実に行動しようとする心情を育てる。

6 展開

	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
気づく 10分	<p>1 まじめということに対して抱いているイメージを出し合い、課題意識を持つ。</p> <p>(1)まじめな人とはどんな人のことをいうのだと思いますか。</p> <p>(2)みんなの中のまじめ度はどれくらいかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・規則を守る ・うそをつかない ・人のいうことをきちんと聞く ・自分の仕事をきちんとする ・ふざけない ・優しい ・礼儀正しい ・半分くらい (理由) ・疲れるから ・ストレスがたまる ・家と学校では違う ・あきらめる ・周りの雰囲気 	<ul style="list-style-type: none"> ・まじめでありたいが、それに背を向けてしまう自己の複雑さに目を向け、学習への意欲を高める。 ・まじめにすることの難しさを掘り下げる。自分の体験からどんどん意見をださせ、お互いに共感させたい。 ・まじめに対してきちんと向き合った上で、資料に入りたい。
つかむ 20分	<p>2 資料を読み、話し合う。</p> <p>(1)答案を見てしまった花子の行動についてどう思いますか。</p> <p>(2)惨めな気持ちになったのは、なぜでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・花子は人のを見てよくない ・嫌な気持ちになるのなら、初めからしなければいい ・朝復習すればよかった ・前の日、看病していたんだからしょうがない ・つい見てしまった後に後悔している ・もう二度としないと反省しているんだから、まじめ ・自分の力でないから ・人のを見たから ・もやもやとした嫌な気持ちになっているから 	<ul style="list-style-type: none"> ・花子はまじめか、そうでないかを、自分の体験をもとに考え、話し合わせたい。 ・惨めな気持ちはどこから何に対してわき起こったのか考えさせ、誠実の価値について考えさせたい。(理解)

<p>広 げ る 10 分</p>	<p>3 友達相互で教え合っ て、自分のまじめな場 面をたしかめる。 (1) 友達のまじめにがん ばっている姿を紹介 しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まじめに掃除している人 ・古代村で活躍した人 ・運動会でがんばった人 ・学級目標に近づこうと している人 ・係活動に真剣に取り組 んでいる人 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いのよさ、自分のよ さにきづかせたい。また、 まじめな行動は自分だけ でなく周りの人を明るく し、気持ちのよい生活を 作り出していることに気 づかせたい。 (意欲)
<p>ま と め る 5 分</p>	<p>4 まじめについての自 分の考えを心のノート に書き加える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まじめとは真剣に取り 組むこと ・まじめとは本気になる こと ・まじめとはまわりのこ とを考えること ・まじめとは優しいこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の言葉で誠実さ(ま じめさ)について、まと めさせたい。 (かかわり) (心のノート p 2 3)

[資料分析] 資料名「見えた答案」

